

令和元年度の“まほろばの里案内人”の活動を紹介します！！

研修旅行～高山文五郎と金華山【ガイドの資質向上のための事業】

- *実施日：令和元年10月6日(日)、7日(月)
- *場 所：宮城県多賀城市・金華山黄金山神社
- *内 容

貞泉寺の欄間彫刻（平成30年高島町の文化財に指定）について、それを手掛けた高山文五郎氏や深い関わりのある黄金山神社などを訪れ、現地研修を行いました。また、東北の歴史を広く学ぶため、東北歴史博物館と多賀城政庁跡も訪問しました。



黄金山神社の欄間は高山文五郎氏の長男が手掛けたものとされていますが、明治期に火事で焼失したとのこと。実際に見ることはできませんでしたが、貞泉寺の欄間の重要性や貴重さを改めて学ぶことができました。

多賀城政庁跡では、多賀城市観光ボランティアガイドの方に案内していただきました。これまで論じられてきた歴史は中央政権の歴史であり、東北の歴史はまだ発掘調査中とのこと。これから多くのことが解明されていけば、まほろばの里案内人のガイド活動の幅も広がっていくと感じました。

また、ガイドの方の技術も素晴らしく、一人一人の顔を見て案内をしている点や、要所で人数確認をしながらグループ内の歩みを合わせていた点が印象深かったです。さらに、話すスピードや時間の使い方が絶妙で、当会でも参考にすべき点だと感じました。

南陽市えくぼの里案内人 交流事業【ガイドの資質向上のための事業】

- *実施日：令和元年8月28日(水)
- *場 所：高島町内
- *内 容

近隣市である南陽市のボランティアガイドの会（南陽市えくぼの里案内人）との交流事業を行いました。始めに亀岡文珠や瓜割石庭公園、安久津八幡神社をガイドした後、情報や意見の交換会を行いました。えくぼの里案内人は「来てよし住んでよし」の地域づくりを目指して活動しているとのこと。会員として南陽高校の高校生も参加しており、高校生と連携してまちづくりを図っているようです。当会でも今年度イベント時に高島高校生と協力しながらガイドを行いました。今後も町内の様々な団体と関りを深めながら活動の幅を広げていきたいです。



■総括（研修の成果・効果、課題、展望など）

南陽市えくぼの里案内人との関わりでは、お互いに同じような問題を抱え、解決に苦労していることが分かりました。近隣市町とのつながりを活かしながら、研修と交流を重ねて互いにスキルアップと会の発展を図っていくことが重要であると感じました。

また、実際のガイド時にお客様に知識を発表する場になり、独りよがりのガイドになっている傾向にあることに気づきました。来ていただいたお客様を楽しませるといふ、ボランティアガイドとしての原点をもう一度確認する必要があると学びました。

■ガイドの基本情報

活動エリア	亀岡文珠・安久津八幡神社周辺
活動時期	待機ガイド:5月から10月の毎週日曜日、予約ガイド:通年
ガイド登録者数	男性 7 名 女性 1 名
申込窓口 予約方法	申込先:(一社)高畠町観光協会 ※5日前までの予約が必要
ガイド料金	1時間以内 2,000 円、1時間超 3,000 円
令和元年度のガイド回数	ガイド回数 110 回 観光客人数 1,515 人

年間活動(行事・研修)

- 4月 役員会・通常総会
- 5月
- 6月 県観光ボランティアガイド連絡協議会総会・研修会(酒田市)
- 7月 ガイドマニュアル編集会議、たかはた町民講座講師登録
- 8月 おきたま地域観光ボランティアガイド協議会総会、例会、ガイドマニュアル編集会議、南陽市えくぼの里案内人交流事業
- 9月 ぐるぐるライド
- 10月 研修旅行～高山文五郎と金華山
- 11月 おきたま地域観光ボランティアガイド協議会研修会
- 12月 例会・忘年会
- 1月
- 2月 まほろば冬咲きぼたんまつり町内巡り周遊バス
- 3月 役員会



↑県観光ボランティアガイド連絡協議会総会・研修会



↑おきたま地域観光ボランティアガイド研修会

ガイドさんからのメッセージ

今年度は、地元高校生や近隣市町のガイドの会と交流する活動が多く、ガイドの在り方を考え直す機会となりました。

お問い合わせ先 (一社)高畠町観光協会 まほろばの里案内人
連絡先電話番号 0238-57-3844